

2.5.1 基本試験：拘束具頭部の処理方法

アンカー体設置地盤の地盤反力係数を求めるには拘束具（スライダ）の引抜け変位が 5cm 程度必要である。そのため、連結パイプより引張り側のテンドンは布等で連結パイプ径以上に増厚し(図 5.1.1)、拘束具に余分な引抜け抵抗が働かないようにしておく必要がある。

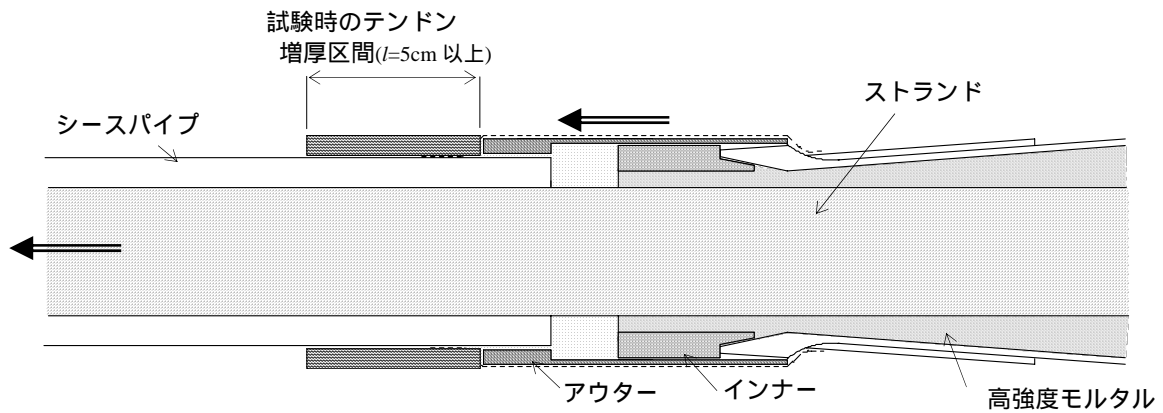


図 5.1.1 基本調査試験時における連結パイプ位置の処理方法